



記念冊子「オーイしんちゃん」
好評発売中！

市民・行政一体型フェイスブック
「かにすき」運用中
投稿者を募集中！！

希望者は kouhou@city.kani.lg.jp に申し込みください。

かにすき
100,000



お詫びと訂正

広報かに 3月15日号に折り込み配布しました「平成26年度ごみ・リサイクル資源収集日程表」収集地区「久々利・羽崎・二野・緑ヶ丘・羽生ヶ丘・瀬田・柿田・しらさぎ・洲之上・兼山」の3月の金物類・粗大ごみ収集日に一部誤りがありました。お詫びして訂正します。

正：3月20日（金）
誤：3月20日（火）

図書館だより

市立図書館 本館（広見） ☎02 5120
帷子分館 ☎06 8530
桜ヶ丘分館 ☎04 3473

休館日 本館・分館共通 毎週月曜日、25日（金）

展示のご案内（本館）

「読みくら絵本 かぐやひめ」展

（岐阜県図書館）
期間 3月29日（土）～4月24日（木）
日本の昔話「かぐやひめ」の絵本を集めました。光り輝く竹の中から現れた姫の物語は、「竹取物語」の名でも有名です。また、長編アニメ映画「かぐや姫の物語」にもなりました。様々な「かぐやひめ」の絵本を読みくらべてみましょう。

新しく入った本

一 「乱丸 上・下」 宮本昌孝 / 著（徳間書店）
二 「ドクちゃんは父になった」 野島和男 / 訳編著（高文研）

「うるしの科学」 小川俊夫 / 著（共立出版）

「直木賞物語」 川口則弘 / 著（バジリコ）

児童書

「透明人間になった男の子のはなし」 サリー・ガードナー / 作 三辺律子 / 訳（小峰書店）
「あかいありのぼうけんえんそく」 かこさとし / 作・絵（偕成社）
「巨大地震」 京都大学防災研究所 / 著（PHP研究所）

子ども読書の日

4月23日は、「子ども読書の日」です。図書館では、いつもと少し違う読み聞かせを行います。
○かにっ子タイム
日時 4月26日（土）午後2時～
場所 図書館本館3階 会議室
○ちびっこかにっ子タイム
日時 4月24日（木）午前11時～
場所 図書館本館2階 親子閲覧室
ぜひご参加ください！

MEDIA INFORMATION いきいきマイタウン 番組案内

ケーブルテレビ可児（デジアナ7ch、デジタル12ch）で毎日放映中！！

4/5（土）～11（金）

●ようこそ！市長室へ

今回のテーマは、「可児市発・支えあいづくり～社会貢献システムとKマネー」。
超少子高齢社会を迎えるために、新たな支えあいの仕組みをどのように構築していくのかお話しします。

4/12（土）～18（金）

●うるおいライフ

今月の特集にもある「うるおいライフ」。この春から何か新しいことに取り組みたいなあと思う人にもおすすめの講座が盛りだくさん。その中から2つを選んで番組内で紹介します。

放送時刻 月～金曜日 7:30・12:00・17:00・19:00・21:00・22:00
土・日曜日 7:30・12:00・14:00・19:00・20:30・22:00
※番組の内容や時間は変更することがあります。
※デジタル12chのデータ放送で、市政情報も発信しています。

4/19（土）～25（金）

●好きなのはカニダー

今回のテーマは、「社会貢献システムとKマネー」。社会貢献システムやKマネーってどういうものなのでしょう？カニダーがどのように利用したらよいのか、徹底的に調査しますよ。

4/26（土）～5/2（金）

●美濃桃山陶講座②

美濃桃山陶について理解を深めていただくというシリーズの第2弾。今回は、なぜ美濃桃山陶が可児で作られたのか？美濃桃山陶の誕生と可児が果たした役割についてお話しします。

FM rara 55.5
76.8MHz
KANI, MINOKAMO, MITAKE

放送中

災害など緊急時には、特別放送をします。

月～金の午前8時からは、市政情報を、毎週土曜日の午前10時からは、地域の市民活動などを放送しています。毎週木曜日の午前11時20分～11時40分は、市長や市職員が出演するコーナーもあります。お聴き逃しなく！



ボランティア活動（移動支援）

「地域支え愛ポイント制度」です。注目点2。地域を支えるボランティア活動をポイント化し、それが同時に地域経済の活性化に寄与する仕組みが「K・money」。ボランティア活動で貯まったポイント

「可児市発・支えあいづくり」社会貢献システムとKマネー」東日本大震災から3年が過ぎました。私たちが再確認した「絆」や「支えあい」の大切さは、超高齢社会を迎えるためのキーワードでもあります。ノスタルジーではなく、現在から未来に向かう現実の社会で、新たな支えあいをどのように構築してい



ようこそ！
市長室へ



は、市発行の地域通貨・Kマネーに交換して、市内の協力店で使ってもらえます。市内でお金を循環させる、地域経済活性化の仕組みです。Kマネーを公共目的に寄附してもいいですよ。注目点3。持続可能な仕組みにするための財源確保が大きな課題です。かつてのプレミアム商品券のように、その財源を貴重な税金のみに頼っては限界があり、単発で終わってしまいます。そのためにお願いするのが「社会貢献協力金」です。これは、事業者の皆さんがKマネーを換金する際に、額面額の1%をご負担いただき、この仕組みの財源とさせていただきます。市民の力を



地域支え愛ポイント手帳

可児市長 菅原 伸

お借りすると同時に、市内事業者の力もお借りするものです。協力事業者さんには、Kマネーにおまけや割引などのプレミアム（付加価値）を付けていただくこともお願いしています。事業者さんのアイデア、知恵で、Kマネーの魅力をどんどん育てていきたいと思っています。KマネーのKは、可児市、貢献、経済、協力、活性化などの頭文字です。多くの市民、事業者の皆さんに、ご参加、ご協力いただき、可児市発の支えあいをつくっていただければと願っています。



K・money（Kマネー）